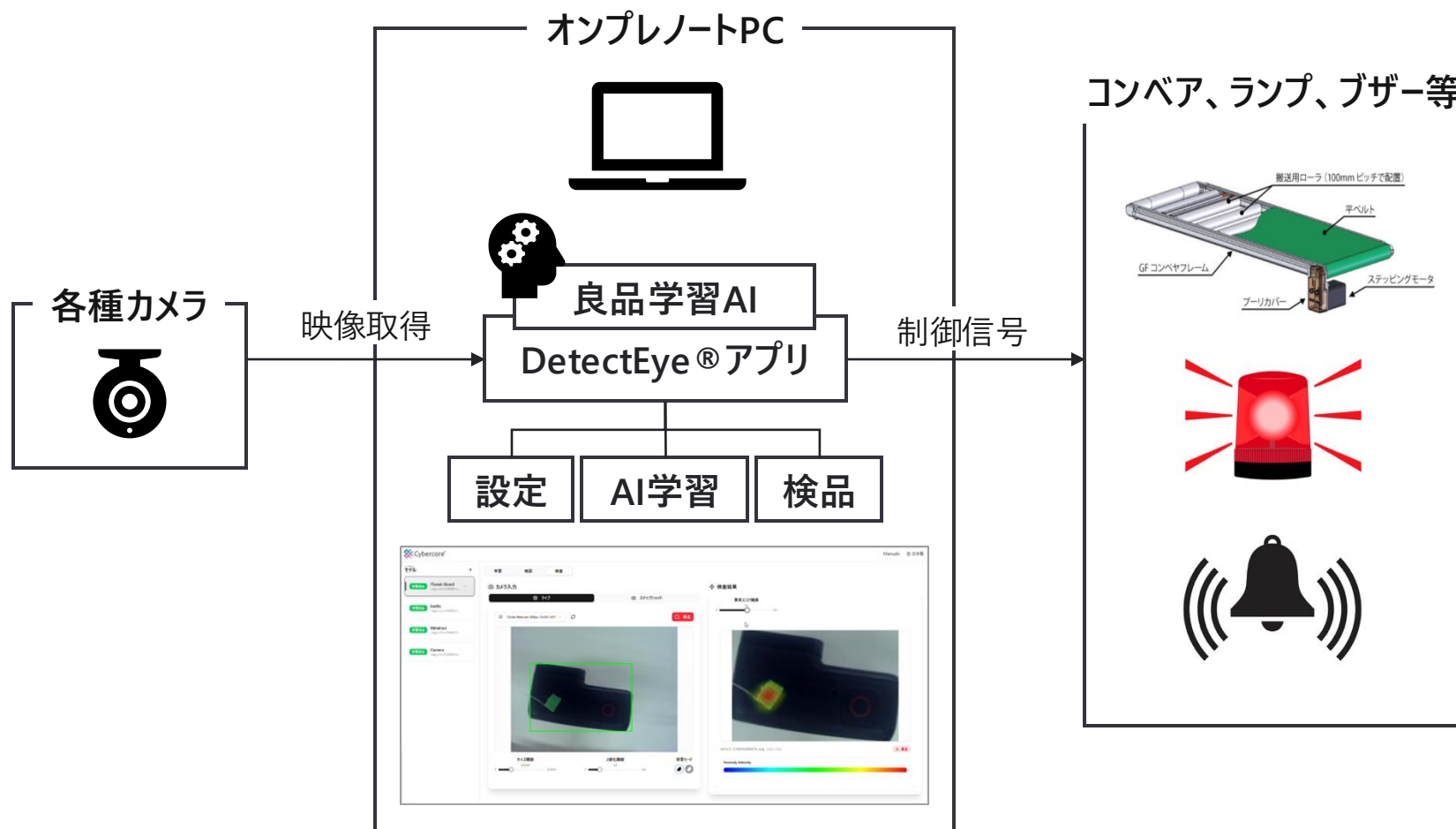


製造業向けソリューション

- 良品学習AI検品ソリューション DetectEye®

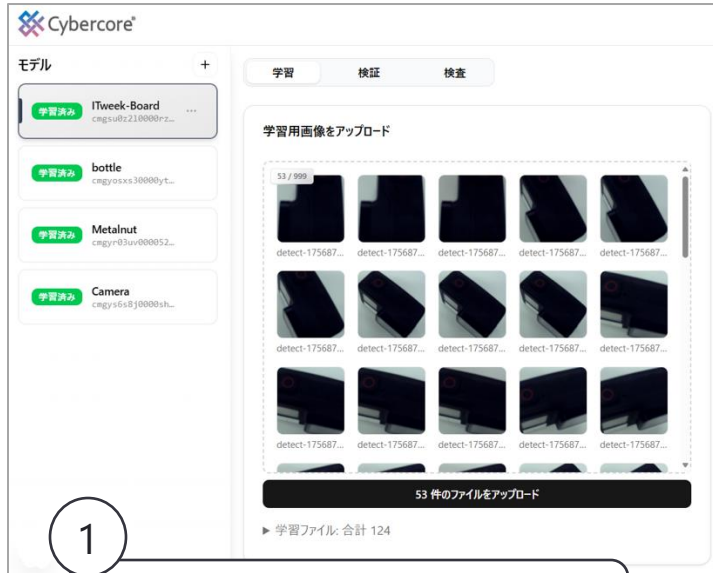
良品学習AIによる不良品検査ソリューション DetectEye®

- 不良品の学習を必要としない「良品学習」アルゴリズムを用いた検査システム。
- ノートパソコン1台で導入が可能で、移動式コンベアを用いたミニマムな構成も可能。
- クラウドサーバーやインターネットにデータを送信せず、機密情報を保護可能。

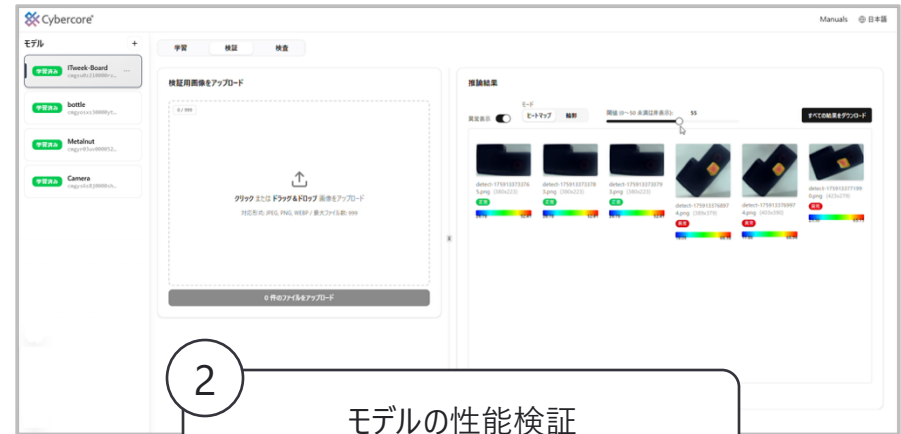


< 学習 > < 検証 > < 検品 > の基本機能をかなえるシンプルなUI

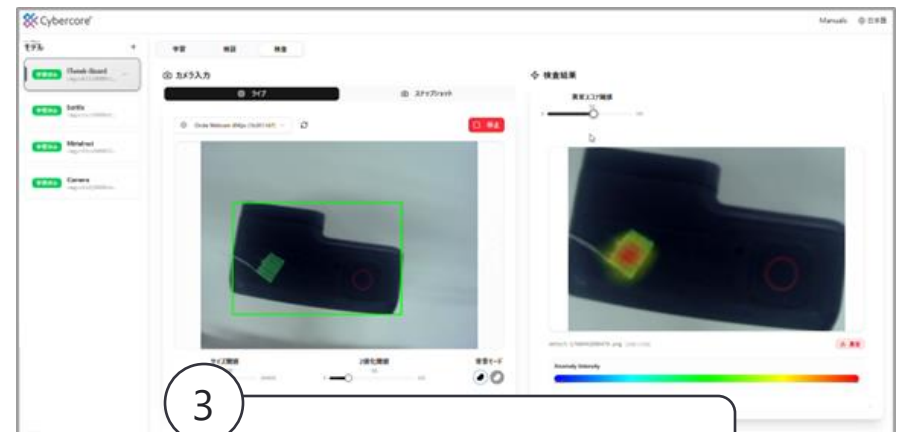
- 平易なUIで、非エンジニアのお客様でもモデル管理やAI検品が可能
- 一つのアプリケーションで複数のモデル管理。日別に検査対象物を切替可能
- お客様で商品ごとのAIモデル新規登録（学習）、検証、検品の実行が可能



複数モデルの管理
モデルの登録（学習）



モデルの性能検証



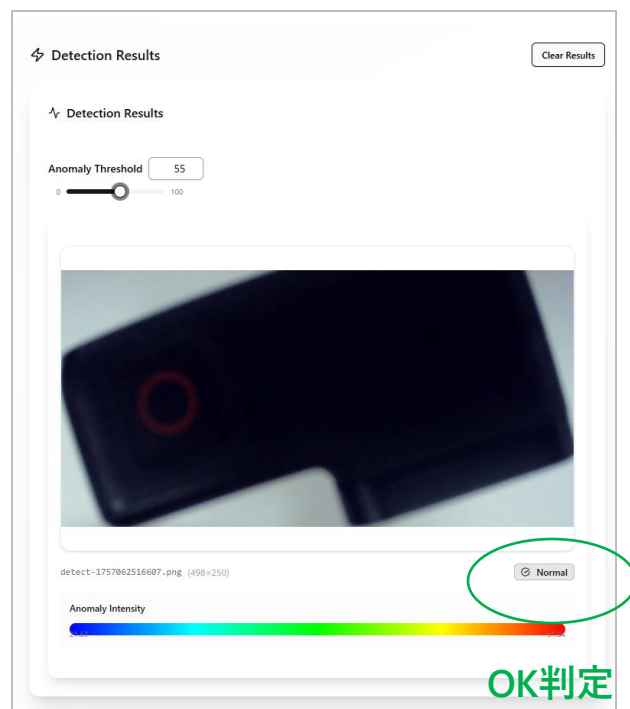
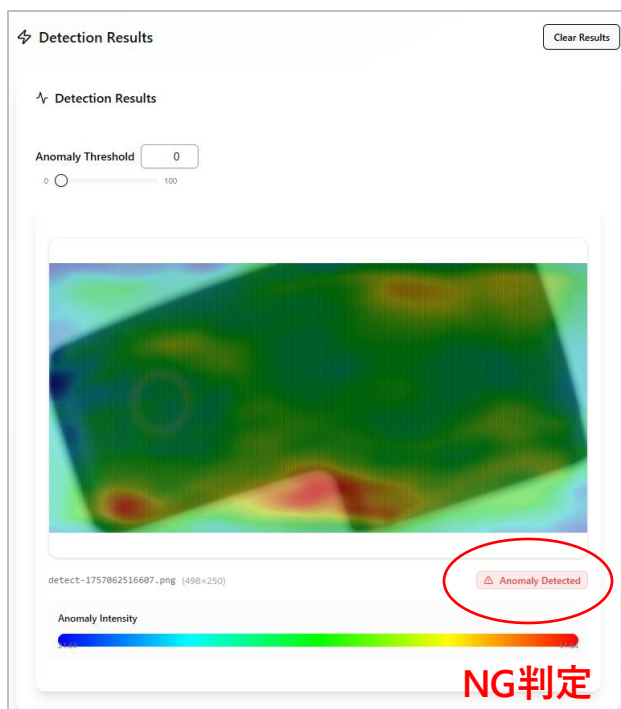
検査の実行

異常値しきい値調整で、検品の丁度よい「厳しさ」を設定

- OK/NGの判定には、異常値スコアのしきい値を設定可能。
- これにより、「厳しい検品」（＝しきい値を低めに設定）や「易しい検品」の調整が容易に可能。

学習時に加え、検品時にもしきい値を調整することでOK/NGの判定を微調整可能

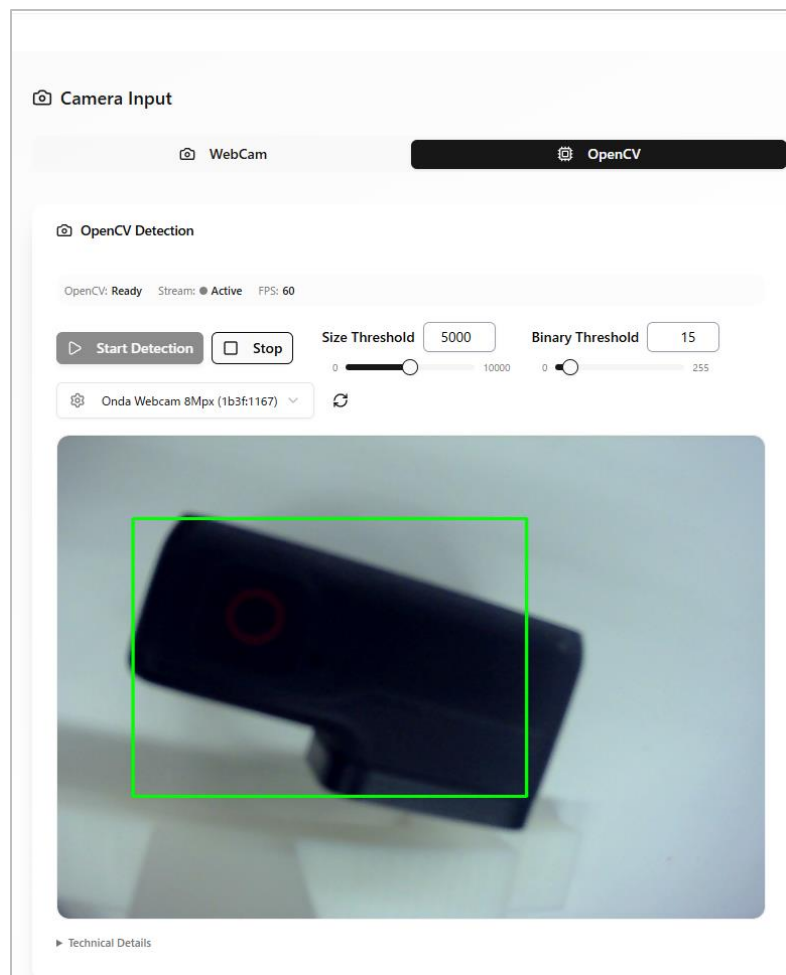
しきい値低（厳しい） ← → しきい値高（甘い）



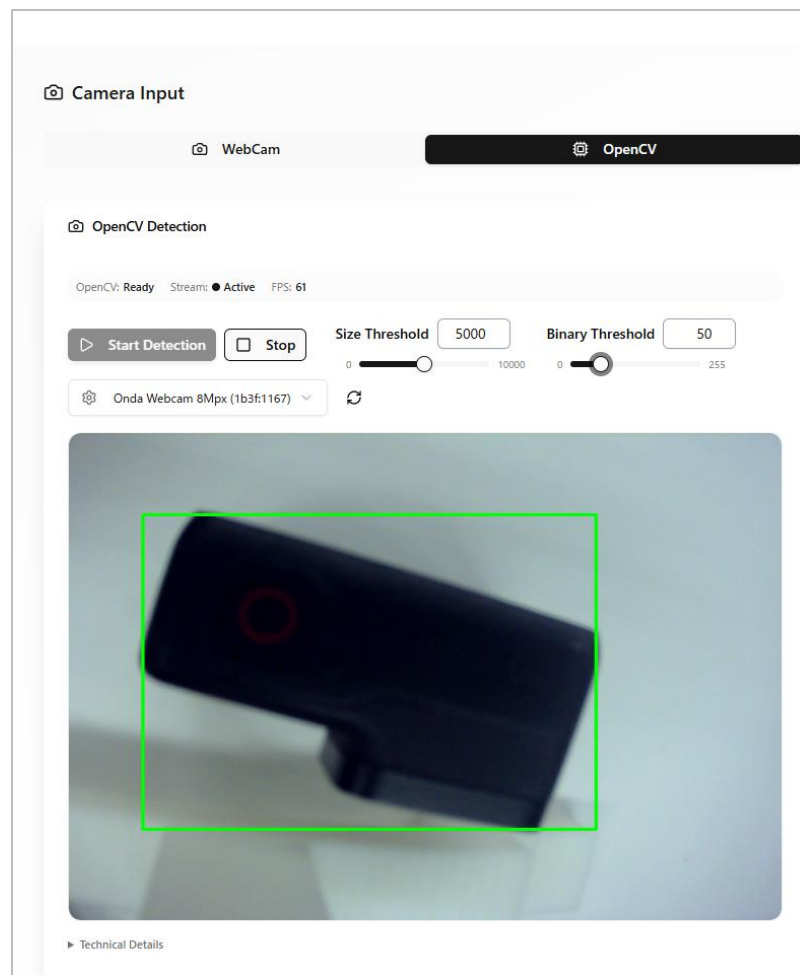
検品時の物体検知の工夫で、検知AIの学習を不要に

- 物体検知AIの学習&運用工数を削減するため、標準では画像処理による物体検知を実装。2つのしきい値の設定のみで、画像背景との差分を物体として検知。

大きさ：5000、二値化：15に設定



大きさ：5000、二値化：50に設定



DetectEye® アプリケーションv2 α版デモ動画（2025.10） [LINK](#)

➤ AI学習～検品閾値調整～検品結果表示 までの一連のデモ



可動式で小規模作業場にも対応可能なミニマム構成の一例

- 商品投入を人が行うことで、AI検品の可動式ラインが低価格で実現可能
- 可動式にすることで汎用性高く、その日必要な検品ラインをAIで自動化が可能

組付けすぎないシステム構成で、移動式のコンパクトなAI検品ラインを実現

